



2021年8月17日

報道関係者各位

特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan
慶應義塾体育会野球部

**治療しながら野球部での「青春」を！慶大野球部が実現
8月24日(火曜)下田グラウンドにて、長期療養児の入団式を開催！**

特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan(ビーイング アライブ ジャパン 本社:東京都世田谷区、理事長:北野華子 以下「Being ALIVE Japan」)は2017年11月より、長期治療中のこどもがスポーツチームへの入団を通して、長い療養生活をチームで支える自立とコミュニティ創出する事業「TEAMMATES(チームメイツ)」を提供しています。

この度、慶應義塾体育会野球部に4人目となる長期療養中の中学生の入団が決まりました。今回、入団する選手は来年6月までチームの一員として所属し、チーム活動に参加します。8月24日(火曜)14時15分より、下田グラウンドにて、入団式を開催致しますのでご取材をいただけますと幸いです。

本取り組みにより、長期療養を必要とするこどもの可能性の幅を広げる選択肢や繋がりが地域社会の中に増え、復学や進学支援に繋がればと考えております。また当事業を通じて、大学スポーツの振興促進や大学アスリートが競技のみならず社会貢献活動に参加する機会が増えることも期待しております。

【過去の入団式の様子】



ユニフォーム贈呈



契約書の署名



全体集合写真



慶大野球部での活動

2020年7月に当団体では「新型コロナウイルス禍における活動ガイドライン」を策定し、活動に関わる選手、チーム関係者、団体スタッフに共有、及び感染拡大を防止する行動に関する研修を実施した上で今回、活動を再開する運びとなりました。新型コロナウイルス禍で、長期療養中のこどもたちの外出や社会参加がより困難になり、また長期化する中で、当活動を通じてスポーツチームと連携し、より多くの長期療養中のこどもたちの青春を実現する機会を創出して参ります。

入団式の開催概要

- 【場所】 慶應義塾大学 下田グラウンド
(住所: 神奈川県横浜市港北区下田町 2-14-5)
URL: <http://baseball.sfc.keio.ac.jp>
*当日は会場の都合上、車でのご来場はお控えください。
- 【日時】 2021年8月24日(火曜) 14:15 - 15:15
報道関係者様受付 13:40~@グラウンド受付 (13:45~13:55 事前説明実施)
- 【主催】 特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan

入団記者会見登壇者

- 入団選手: 國久 想仁(くにひさ そうと)くん 13歳、中学1年生
- 慶應義塾体育会野球部 部長 岡 浩太郎(おか こうたろう)
- 慶應義塾体育会野球部 監督 堀井 哲也(ほりい てつや)
- 慶應義塾体育会野球部 主将 福井 章吾(ふくい しょうご)

NEW TEAMMATE

入団選手について

- 國久 想仁(くにひさ そうと) ※ 写真中央
- 年齢: 13歳 中学1年生 (生年月日: 2008/7/23)
- 背番号: 17

2019年11月、当時小学5年生の時に、当事業を通じて慶大野球部に入部していた田村勇志くんの慶早戦の始球式を観戦しました。その時、同じ病気でいながら頑張っている姿に感銘を受け、慶大野球部への入部を強く憧れ、今回の応募がありました。

小学校6年生の時に足の骨を延長する手術を行い、現在も治療・リハビリ中です。また来夏には、腕の治療も予定しており、今回入団児童が中学で実現したかった野球部への入部と「青春」を慶大野球部での活動を通じて実現していきます。



■ 長期療養中の退院・復学支援とは

難病や慢性疾患等、長期療養を必要とするこどもは全国約 25 万人います。医学の進歩により救命率の向上や入院期間の短縮化がされた一方、多くのこどもたちが定期的な通院や治療を必要としながら、学校や地域社会の中で生活を送っています。国では年間約 9 億円をかけて、長期療養を必要とするこどもたちが自立できる支援をしていますが、こどもたちが社会の中で多様な経験と交流を得て、自立できる機会がまだ十分とは言えません。

長期療養により、体力の低下や外見の変化、友人との関係が希薄な状態の入院生活から、学校や日常生活に戻る退院・復学の過程はこどもたちにとって大きなチャレンジです。当事業は入院を経て退院後も長期療養を必要とするこどもたちの学校や日常生活に戻る過程の中を支援しています。スポーツチームへの入団と活動を通じて、長期療養中のこどもたちの自立支援、および長い療養生活を支え応援してくれるコミュニティを創出する支援をしています。



入団式スケジュール

13:40 -	報道関係者様・招待客の皆様 受付開始@グラウンド
13:45 - 13:55	報道関係者様への事前説明会@グラウンド
14:15 - 14:25	入団選手の入団契約書の署名
14:35 - 14:45	Being ALIVE Japan よりチーム・選手への活動説明
14:45 - 14:47	入団選手のグラウンドに入場
14:47 - 14:50	部長挨拶
14:50 - 14:53	監督挨拶
14:53 - 15:10	ユニフォーム贈呈と写真撮影(監督・入団選手・家族・プロジェクトメンバー) 入団選手の自己紹介 入団選手とチームとの写真撮影
15:10 - 15:30	入団会見(入団選手・ご家族・主催団体・監督・部長・主将)@室内練習場 or グラウンド

※ ハイライト部分が撮影ポイントになります。

入団式の取材に関して

(1) 入団式の取材に際しまして感染防止のご協力

新型コロナウイルスの流行に伴いまして、下記のお願いがございます。

- 取材時には必ず手洗い(またはアルコール消毒)、マスクのご着用をお願い申し上げます。
- ソーシャルディスタンス(最低1m以上)を保ち、入団選手・ご家族・関係者への取材・撮影をお願いします。
- 取材当日、団体が実施する事前説明にご参加いただき、取材・撮影をお願い申し上げます。
- 新型コロナウイルスの感染状況によっては、入団式を中止する可能性がありますこと、ご理解とご了承をお願い致します。

(2) 掲載可能な情報に関して

記事作成時に掲載可能な情報は、名前、年齢、性別、病名、病気の概要説明、入団式の写真となります。

※ 入団選手ご本人とご家族の希望で中学校名は開示致しません。

(3) 病気に関して

入団選手(國久くん)の病気に関して記載される場合は、「**軟骨無形成症**」であり、病気の説明は下記のように記載をお願い致します。

「**軟骨無形成症(成長軟骨に異常がある骨の病気)**」 **難病という用語を使用しない**よう、お願い申し上げます。病気や療養生活に焦点を当てた記事はお断りさせて頂いております。

(4) 表現で配慮していただきたいこと

下記の表現を控えていただけるよう、お願い致します。

A. 病気を抱える(×) → 病気のある(○)

【理由】病気はこどもたちが自ら望んでもったり、抱えている訳ではないため。

B. 重い病気や苦しみから解放(×) → 重いや苦しみの否定的/消極的な表現を控える

【理由】こどもたちやご家族が病気自体を重いもの、また苦しいと考えていない可能性があるため。

入団選手本人とご家族への直接取材に関して【事前申込必須】

入団式中、國久想仁くんの心理的ストレスを配慮し、直接、質問することをお控えください。
國久想仁くんやご家族への直接取材は、入団式後に 10 分程度行います。

- 國久想仁くん・ご家族への取材・撮影・掲載に際しましては、事前に主催団体である NPO 法人 Being ALIVE Japan に申請が必須です。
- 國久想仁くんとご家族の権利上、**事前申請無し**の取材・撮影・掲載は禁止されております。
- 当日取材時、必ず主催団体の担当者が帯同のもと、國久想仁くん、ご家族への取材をお願い致します。
- 病気や治療状況に関するご質問は控えていただき、主催団体にお問い合わせをお願い致します。

<記事掲載時への注意・配慮事項について>

入団選手、國久想仁くんの慶應義塾体育会野球部への入団は、NPO 法人 Being ALIVE Japan が企画・運営する「長期療養児とスポーツチームのマッチング事業 (TEAMMATES、チームメイツ)」を通して実現しました。

過去に記事掲載後、入団の経緯やこどもの選定に関してご家族向けに、またご家族の SNS に記事に関する質問や問い合わせがありました。ご家族の心理的な負担を最小限にする上で、記事掲載に際しましては、問い合わせや質問が直接団体にいただけるよう、「当団体 (NPO 法人 Being ALIVE Japan) を通じて國久想仁くんが入団した」と団体名及び経緯を可能な限り、記載のお願いを申し上げます。

今後の活動スケジュール

國久想仁くんは、今後約 10 か月間慶應義塾体育会野球部に所属し、チームの一員として数週間に 1 回、練習参加や試合会場でのスタッフサポート等の活動を行います。当事業をご取材いただける場合は、下記問い合わせ先にメール、またはお電話でご連絡いただけますようお願い申し上げます。

<参考資料>

■ TEAMMATES 事業に関して

TEAMMATES事業は米国非営利団体Team IMPACTの事業（大学スポーツチームと慢性疾患のあるこどものマッチング事業）を参考に開発されています。こどもはチームの一員として入団し、練習参加や試合会場でのサポート等、定期的にチーム活動に参加しチームメンバーとの関係構築をします。

チームとの繋がりや経験を通して、長期入院を経たこどもが退院・復学する過程の支援、また長期的に治療・療養を必要とするこどもの身体面・心理面・社会面の自立支援、そして地域社会の中に長期療養中のこどもとご家族を支えるコミュニティの創出を支援しています。

2017年11月に事業を立ち上げ、Jリーグ・Bリーグのプロスポーツクラブ、大学スポーツチームと事業を実施しており、2021年7月現在、14名の長期療養児の入団が実現しています。今回、國久想仁選手は、15人目の入団となります。

■ 特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan

2015年4月より、入院中のこども向けのスポーツ活動の提供をはじめ、2016年2月に特定非営利法人化。難病や慢性疾患、長期的に治療・療養を必要とするこどもの青春と自立を支援することを目的に、地元アスリートやスポーツチームと連携し、こどもたちとご家族を支え応援する存在「TEAMMATES」を地域社会に増やす活動をしています。現在までにスポーツチームとのマッチング事業「TEAMMATES」、病院・地域の中で長期療養児のスポーツ活動の提供と普及をしています。また新型コロナウイルスの流行に伴い、ひとや社会との接点が極力制限のある入院治療中のこどもたち、及び自宅で長期療養生活を必要とするこどもたちのオンライン支援をアスリートやスポーツチームと協働し、2020年5月より定期的に取り組んでいます。

2021年7月までに1,181人、スポーツを通じた長期治療中のこどもの支援活動373回、10都道府県で活動しています。また2017年開始当初より、当入団事業への参画チームは10チームになります。

■ 慶應義塾体育会野球部 概要

1888年に創部し、「エンジョイベースボール」の精神のもと、「早稲田に勝つ、リーグ戦優勝、日本一」を達成するため、日々練習に取り組んでいます。2021年春には170名全員で34年ぶり4回目の日本一を掴み取ることができました。TEAMMATESの入部、心よりお待ちしております。

<http://baseball.sfc.keio.ac.jp>

※本リリースは文部科学記者会、各社運動部、社会部、教育部、横浜支局等に送信させていただきます。

【報道関係者 お問合せ先】

特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan 理事長 北野華子

〒154-0013 東京都世田谷区駒沢公園 1-1 Tote 駒沢公園 301

FAX : 03-6432-3068 Mobile : 080-3411-4210(北野)

Email: press@beingalivejapan.org

慶應義塾体育会野球部 マネージャー 伊豆野万琴

〒223-0064 神奈川県横浜市港北区下田町 2-14-5

TEL :045-563-2001

Email:keiobaseball@aol.com

【送付先】 特定非営利活動法人 Being ALIVE Japan

e-mail : press@beingalivejapan.org

FAX 番号 : 03-6432-3068

事前準備のため、ご多忙の折誠に恐れ入りますが 取材のお申し込みは 8月23日（月曜）正午までにメール、もしくはFAXにてご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

■日時：2021年8月24日（火曜）	14:15～
受付時間	13:40～（13:45～事前説明/参加必須）
入団式	14:15 - 14:35
直接取材	14:40 - 14:55
■会場：慶應義塾大学 下田グラウンド	
■住所：神奈川県横浜市港北区下田町 2-14-5	

貴社名	
貴メディア名	
ご氏名	
同伴者名	
TEL :	
メール:	
取材方法:	<input type="checkbox"/> ムービー <input type="checkbox"/> スチール <input type="checkbox"/> ペン
直接取材希望	<input type="checkbox"/> 入団選手・ご家族 <input type="checkbox"/> 慶應義塾体育会野球部 <input type="checkbox"/> 主催団体 Being ALIVE Japan
掲載予定日時	月 日 （ 曜日）
番組名/媒体名	